

淡路夢舞台におけるホテル及び公共施設群の新たな展開方策等の検討に向けた サウンディング型市場調査 実施結果概要

1 調査の目的

淡路夢舞台のポテンシャルを生かした利活用に関する様々なアイデアや各種条件・課題等を整理するとともに、民間事業者の意欲の把握を行い、もって淡路夢舞台の今後の新たな展開方策とそれにふさわしい経営のあり方の検討に向けた基礎資料とすることを目的に実施。

2 調査の実施概要

(1)実施期間

- ・ 書面調査 : 令和7年1月20日(月)～2月28日(金)
- ・ 追加ヒアリング : 令和7年4月18日(金)～4月30日(水)

(2)調査方法

- ・ 書面による質問票の回収及び対面・オンラインによるヒアリング

(3)参加事業者数

- ・ 12社

3 主な意見・提案内容

(1)施設への関心状況

- ・ ホテル : ○複数事業者が資産譲渡又は運営に関心を示した。なお、運営権設定への関心を示す事業者は限定的
- ・ 公共施設群 : ○複数事業者が運営に関心を示した。資産譲渡への関心を示す事業者もあった。
○公共施設の運営のみに関心を示す事業者もあった。
○会議場には、複数のPCO(会議運営サービス会社)が運営に関心を示した。

(2)一体的な運営に関する意見

- ・ 各施設に知見のある事業者で連携し一体的に運営する方が取り組みやすいとの意見が多数あり。

(3)その他意見

- ・ 安藤建築について、活用する価値はある。維持・改修に係る制約や費用の増加等を懸念する。
- ・ 長期休暇や週末に利用が集中しており、通年で集客できるコンテンツが不足している。
- ・ 淡路島全体の課題として、自動車以外での公共交通機関(バス、船など)を利用したアクセスの整備・強化が必要 等。